

2014

7月10日

木曜日

建設新聞

発行所 建設新聞社

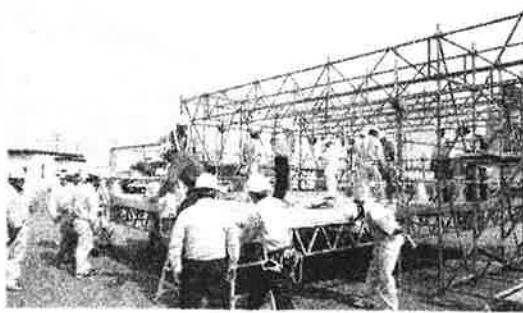
本社	仙台市青葉区春日町7-5	TEL022(221)4601(大代)
青森支局	青森市古川1丁目21-11	TEL017(722)8631(代)
岩手支局	盛岡市菜園1丁目3-6	TEL019(651)8045(代)
秋田支局	秋田市山王4丁目3-10	TEL018(862)6921(代)
山形支局	山形市松波1丁目10-16	TEL023(641)2800(代)
福島支局	福島市宮下町17-20	TEL024(534)0138(代)
東京支局	東京都江東区豊洲1-3-2	TEL03(5547)1367

鶴岡国道安全衛生協ほか

吊足場「クイックデッキ」を体験

日綜産業が力 協 合同研修会を開催

国道7号と国道112号月山道路の維持補修工事等の受注業者で組織する鶴岡国道安全衛生協議会と月山道路工事連絡調整協議会は8日、吊足場の新工法・新技術に関する合同の研修会を鶴岡市の鶴岡国道維持出



作業床を体感する参加者たち

張所鶴岡防災ステーションで行った。今回、研修したのは日綜産業(東京都 小野大社長)がこのほど販売・レンタルを開始した吊足場「クイックデッキ」(7日付ニュー

ス版に関連記事)。主な特徴として①常に床を先行して設置でき完全に吊足場を組み上げられる②床ユニットはシステム化され、熟練工でなくても組み上げが可能③最大4・8層の作業床を跳ね出しでき、これまで困難だった箇所での足場架設も安全でスピーディーに行える。などがあり、橋梁や大空間建築等のメンテナンス工事に高い安全性や施工性、効率性を発揮する。

当日は、両協議会の現場代理人など約40人が参加し、最初に日綜産業の鈴木正人事業推進部長がプロジェクターを用いながら「クイックデッキ」の概要や特徴、設置事例などを紹介。引き続き、駐車場に移動して実際に組立の手順を見学した後、完成した作業床の乗り心地などを体験した。

今回の研修会を開いた経緯について、鶴岡国道安全衛生協議会の上野歳一会長(浅賀建設)は「少し前にクイックデッキのパンフレットを見て、とても良い工法なのでぜひ協議会の皆さんにも紹介したいと思った」とした上で「東北での設置例はまだないので、両協議会から第1号が出ることを期待したい」と話している。